

予算決算委員会

～審査概要～

全議員参加により、24年度補正予算、25年度当初予算及び関連議案について審査を行いました。

審査の概要は、まず、補正予算に関する概況説明を聴取した後、6分科会による詳細な審査を行い、締めくくり総括質疑を実施し、採決いたしました。

その後、当初予算及び関連議案に関する総括質疑を2日間実施した後、6分科会による詳細な審査を行い、締めくくり総括質疑を実施し、採決

総括質疑

自 民 党

- 質疑 1** 25年度当初予算の目指すものと人口減少社会への対応は？
新年度予算編成で目指したものは何か？また、この2年間自民党として提言し続けている人口減少社会及び労働者人口減への対応が、予算編成にどのように反映されているのか？
- 質疑 2** 桜町・花畑地区再開発事業について
再開発に伴う過去7年間の不用だったと思われる3億4,170万円についての見解は？また税収増の見込めない中、両再開発事業の総予算の上限を設定した上で基本計画に入るべきである。さらには両再開発の一本化した基本構想を再策定すべきである。
- 質疑 3** 第6次総合計画基本計画中間見直しについて
総合的・計画的市政運営のための設計書であり、街づくりの指針である基本計画の見直しには、市民の参画と協働のもと改定されるべきと考えるが、そのスケジュールはどうなっているのか？
- 質疑 4** 熊本市自治基本条例制定後の初めての見直しについて
市民・議会・市という3者で、4年もの年月を掛けて制定した自治基本条例の最初の見直しの時期が来たが、どのような手続きで行うのか。また、市民・議会の意見は反映されるのか？
- 質疑 5** 熊本博物館リニューアルについて
総事業費2カ年で17億7,000万円でのリニューアルに伴い、県の展示スペースを設けるようだが、政令市の博物館として、情報発信基地として、県下全域の博物館という位置付けで整備してはどうか？
- 質疑 6** 適正かつ効率的な予算措置と執行
国の給与削減要請に伴う本市における人件費の予算措置状況と今後の対応方針及び交付税への影響と財政調整基金の取崩し予定について。
議員及び一般市民に分かりやすい予算説明資料等の提供について。
- 質疑 7** 町内自治振興補助金、総額約2億1,000万円について
市は自治会活動の課題認識がない中で莫大な自治会振興補助金を交付している。今後、住民の和が損なわれたりコミュニティー崩壊を招かない為にも、制度や補助金の理念が反映されるよう指導啓発を強化すべきである。
- 質疑 8** 区のまちづくり推進事業について
今年度より5つの区では、特性を活かした事業が計画されています。
今後は住民の意見・要望が十分に反映できるよう、まちづくり懇話会での協議だけでなく地域での説明会や意見交換会等で、より多くの市民との情報の共有に取組み実施していただきたい。

くまもと未来

- 質疑 1** 桜町再開発の関係予算について
補正予算「都市計画総務費桜町地区市街地再開発事業1,060万円」、及び当初予算「MICE施設整備計画策定経費2,200万円」。それぞれの具体的内容は。
また、この予算を認める事は、桜町へのMICE施設を議会が認めたと見るのか、市長の認識を尋ねる。
- 質疑 2** 特別支援学級の加配について
県の方針で4月より5人に1人から6人に1人となったが、市の予算でフォローすべきでは。
- 質疑 3** 熊本城マラソンについて
根強いファンの定着のために、抽選方式より先着順のほうがよいのではないか。また、さらなる活性化のために、定員を増やすべき。
- 質疑 4** 財政調整基金について
財政調整基金の適正規模の金額はあるのか。
- 質疑 5** 花畑桜町関連事業について
産業文化会館解体・広場整備・MICEに関する内容・条件・経過を詳細に説明を求める。

～締めくくり総括質疑～

- ・入札残
入札残の要因の精査及び有効活用について
- ・桜町花畑町再開発
丁寧な説明や報告と意見交換時間の必要性、観光客を含めた人々の回遊性及び仮ターミナルについて
- ・城東保育園の移転・新設
保育園新設予定地の進入路の確保及び保育環境改善の計画について
- ・都市政策研究所
研究所の政策形成能力が存分に発揮される研究員の選考について
- ・アジア太平洋都市サミット
本市で開催される第十一回アジア太平洋都市サミットにおける本市の魅力アピールするための施策について
- ・防災、減災対策推進
早急な小中学校施設の非構造部材の耐震対策について

いたしました。

また、桜町・花畑地区再開発事業関連予算については、原案の採決後、関連予算の執行を凍結し、特別委員会を設置し、議論をしていくことを趣旨とした附帯決議案が提出され、賛成多数により決議されました。(詳細はトビックスをご覧ください)

なお、総括質疑における各会派の質疑の概要及び締めくくり総括質疑項目は以下のとおりです。

- 質疑 6** 国県市道関係事業について
予算と権限増により、職員の超過勤務が増えている。適正な執行が出来るようにすべき。
- 質疑 7** 夏休みプール開放事業について
課題が余りにも多すぎる。マニュアルの見直しを行うべき。
- 質疑 8** 多文化共生経費について
フェアトレードについての積極的取り組みと、来年行われる国際会議への支援を。
- 質疑 9** その他
緑のじゅうたん基金について。

市 民 連 合

- 質疑 1** 社会福祉法人への対応について
社会福祉法人の不正事案の問題は、結果として本市の福祉行政に対し市民からの信頼を失くした。再発防止策として監査体制の強化等が必要。
- 質疑 2** 食肉センターについて
廃止予定を来年3月31日とされているが、長きにわたりセンターで働き、支えてこられた方々への対応についてどのように考えているのか。
- 質疑 3** 市営住宅の空家対策について
空室が平成21年に219戸、平成24年2月末では455戸(未修理)となっている。空室の修理について補正予算措置等、早急な対応を望む。
- 質疑 4** 地域防災力の向上策について
防災・減災対策として、今後の取り組みと並行して地域防災力の熟度調査を行い地域格差を把握し、具体的な対策を講じる必要がある。
- 質疑 5** 地方公務員賃金7.8%分の地方交付税の削減について
地方分権に逆行するやり方でデフレ脱却とも矛盾する。本市はこれまで国以上の行政改革を行っており、地域経済への影響もあるがどう考えるか。

公 明 党

- 質疑 1** 緊急経済対策関連追加補正予算について
元金臨時交付金は、地方が実質負担することなく、次年度単独事業にも使える、使い勝手の良い財政措置であり、防災・減災対策や経済活性化につながるように、価値的に効率よく運用して頂きたい。
- 質疑 2** 平成25年度政策的経費各局要求状況の概要について
平成25年度より新たに作成・公開されている政策的経費の各局要求状況の概要について、事業の詳細を記載する事や、査定理由を記載するなど、工夫してより分かり易い資料に改善すべきである。
- 質疑 3** 地域経済活性化の推進について
「新卒応援ハローワークランチ」の大学内への設置を促すとともに、地場企業を支援しながら、熊本の若者が、熊本で安心して長期にわたって働くことが出来る状況を作り出す事業をすべきである。

共 産 党

- 質疑 1** 桜町・花畑再開発について
MICE施設に予定されている多目的ホールは、産文ホールのような固定席の芸術文化鑑賞を目的としたホールと質的に違う。まだ使える産文会館を改修し、利活用すべき。
多額の税金を投じ、維持管理費など大きな財政負担を伴うMICE施設建設は見直し、既存施設の利活用を。

※総括質疑の会派ごとの掲載スペースは、質疑の会派持ち時間により割り当てられています。

- ・農業政策
TPP交渉参加表明による本市への影響懸念に伴う農業分野での国への働きかけについて
- ・福祉の充実
重度障害医療現物給付の実現、特定健診やがん検診などの自己負担の軽減及び子どもの医療費助成の財源拡充について
- ・補正予算の活用
国の緊急経済対策予算や補助金を活用した教育施設の環境整備について
- ・江津湖の利活用
国連「生命の水 最優秀賞」にノミネートされた江津湖の観光資源としての利活用や、後世に引き継ぐべき重要な水資源としての保全について

※予算決算委員会の模様は委員会会議録及び熊本市議会ホームページの議会中継をご覧ください。